

ふよっこだより

〈安全教育と子供安全の日（避難訓練）について〉

本園では、全職員が協力体制をとり、子供たちが、健康で安全な生活を送ることができるよう、日々様々な配慮をしています。それに加えて毎月1回「子供安全の日」を設定し、子供に安全についての話をしたり、避難訓練をしたりする日にしています。また、職員も安全点検を実施し、危険な場所の把握や、点検の結果によって施設設備の修繕や改善を行っています。

☆安全教育について☆

園では、子供たちの心身の発達に応じ、自ら安全な行動をとることができるように、以下の2点に重点をおいて指導にあたっています。

状況に応じて機敏に自分の体を動かすことができるとともに、危険な場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めていくこと。

子供たちが、自分で危険を回避できるようになるためには、日常生活で十分に体を動かして遊び、その中で、危険な場所、事物、状況などを知ったり、そのときにどうしたらよいかを、体験を通して学びとったりしていくことが大切です。

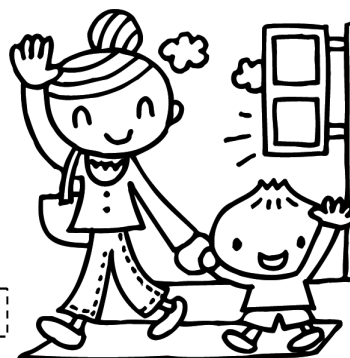
園では「うれしのタイム」や「学級の活動」での様々な活動を通して、子供たちが存分に体を動かして遊べるよう、遊びの動線や遊び方に応じて園内の環境を日々整えたり、子供たちの心身の発達や時期に応じた、必要な活動を意図的に取り入れたりしています。

日々、体を動かして活動する中で、小さなすり傷や切り傷は避けられません。子供は、ケガを通して何が危険かを学び、危険を回避する力をつけていきます。ケガをした時は、手当とともに、『なぜケガをしたのか』を一緒に考えることが次のケガを防ぎ（何が危険かを学び）、大きなケガの予防につながっていきます。大切なお子様がケガをして、痛い思いをさせてしまうこともあるかと思いますが、どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。



交通安全の習慣を身に付けるとともに、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにすること。

交通安全の習慣を身に付けていくためには、日常の生活を通して、子供たちに、交通上の決まりに関心をもたせるとともに、家庭とも連携しながら、具体的な体験を通じた指導を繰り返す必要があると考えています。家庭でも、登降園時などに、交通安全に関する話題を取り上げ意識を高めたり、手をつないで歩くことを繰り返し伝え、習慣付けるようにしたりしてください。そして何よりも私たち大人が、交通ルールを守って、よいお手本になるように気を付けたいですね。



裏面につづく

☆避難訓練の予定について☆

災害時や不審者との遭遇など、様々な災害や犯罪から身を守る対処の仕方を身に付けていくためには、子供たちの発達に応じて、基本的な対処の仕方を伝えていく必要があります。

本園では、火事や地震、不審者の侵入等を想定した避難訓練を、「子供安全の日」として年間計画の中に位置付け、学級・学年ごとのねらいをもって行い、災害時には、教師の指示のもと、一人一人の子供が落ち着いた行動がとれるよう、指導を行っていきます。今年度は、以下のように実施する予定です。



	訓練内容	実施時間帯	実施時期	その他
①	引き渡し訓練	学級活動時	5月11日(水)	ミマモルメで配信します
②	地震	「学級活動」時	9月	
③	火災	「うれしのタイム」時	10月	加東消防署の消防士による指導
④	不審者	「学級活動」時	11月	
⑤	地震	「うれしのタイム」時	1月	阪神淡路大震災に関連して

※ 引き渡し訓練については、別途お便りを配布します。

※ 一部変更する可能性があります。

☆ 本園の防災・防犯体制は、「附属学校園における安全確保及び安全管理の手引き」に従っています。関係機関などとも連携し、附属学校園全体で、子供たちの安全を図る手だてを行っています。

☆お家の方へお願い

【防災グッズについて】

園では、避難訓練等を通して、災害時に身の安全を守る方法を教えていきますが、ご家庭でも「自分の身の守り方」や「こんな時はどうするのか」等、お子さんにお話してください。

また、ご家庭に「非常持ち出し袋」を用意し、まさかの非常時に備えていただきたいと思えます。



防寒具や乾電池、手回し充電できるライトやラジオなど色々そろえておくとう安心です。
靴や眼鏡、常備薬、小さいお子さんのオムツや生理用品なども忘れず入れておきましょう。食品の賞味期限、電池切れ等もこまめにチェックしてください。

【性教育について】

最近では幼児を狙った性犯罪も耳にしますので、少し早いと思われるかもしれませんが、「性犯罪から身を守る」ために『プライベートゾーン』などのお話も（お風呂に一緒に入っている時などに）しておいていただけると助かります。

「プライベートゾーン」とは？

体の中の水着で隠れる部分で「自分だけの場所」という意味です。お子さんには、「簡単に他人に見せたり触らせたりしてはいけないところ」と、お話ししてあげてください。そして、そこを見せろとか触らせろという人に出会ったら、大きな声を出して周りに助けを求めたり逃げたりすることや、そんなことがあった時は、必ずお家の人や先生に知らせることを伝えておいてください。また、「そういうことを、人に言ったりしたりしないようにしましょうね」や「人前では、（自分のものでも）そういうところを触ったり、（必要がないのに）出したりしないこと」等も、併せてお話しください。

